

事業所における自己評価結果(公表)

公表:2025年5月

事業所名 ちあふるスクール宮之阪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パソコンを活用することも多く、少し狭く感じることもあるかと思いますがお子様の活動に合わせて机を移動したり、空きスペースを使用して軽い運動などの活動ができるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準よりも多く配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個別ブースを使用することで集中しやすい環境にしており、入口から活動スペースの範囲で段差などないようにしております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			お子様によって身長も様々なため、机や椅子の高さなど未就学のお子様にあったものを用意することや、少し狭く感じるものが課題となっております。今設置している幼児用の椅子を使用しながら、お子様の体型に合った環境の提案や、お子様の活動に合わせて机を移動したり、空きスペースを使用して軽い運動などの活動ができるようにしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートでいただいたご意見を参考に改善点について共有しています。その他、個別支援計画の更新相談や送迎時、メールや電話でもご意見をお聞きし職員間で共有後対応方法について話しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートでいただいたご意見を参考に事業所内で共有し改善点について話し合っています。結果内容につきましてはホームページ上で公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題としております。どのような形で外部評価を行うか会社内で検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		運転者講習等の研修を定期的にうけております。	必要に応じて研修に参加しておりますが、スキルアップや学びの機会として外部研修の参加に取り組んでいきます。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシートを使用し保護者様やお子様の意見を聞いて計画をたてています。アセスメントシートを改善し、よりニーズが把握できるものになっています。職員間でもお子様の様子について共有し課題の分析を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者様から病院や発達支援センターでの検査結果をいただきアセスメントツールとして使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に基づいた支援を行っております。毎日の共有の際に支援計画に沿った課題内容について確認してから支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日職員間で情報共有する時間を設けており、お子様に合わせた活動プログラムの立案をしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続中の取り組みを除き、お子様の様子やニーズに合わせて個別にプログラムを考え、固定化にならないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		プログラミング以外にもお子様それぞれの課題に合わせて、少人数でのレクリエーションやボードゲームなども取り入れグループ活動も行っています。制作物の発表をする際には、お子さんたちで意見交換をすることもあります。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝情報共有をする時間を設け、支援の内容・分担・準備をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後には小さな出来事でも情報共有し、必要に応じて保護者様に報告をしています。お子様の支援に対してもっとこうした方がいいのではないかと日々話し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		お子様の様子を記録するために専用ツールを使用し記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画作成後、3か月・6か月と定期的にモニタリングを行っています。また、毎日の情報共有の際にお子様の課題への到達状況や見直しの必要性についても話し合っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		セルフプランのご家庭も多くサービス担当者会議が行われることが少ない状況ですが、児童発達支援管理責任者を中心として日々対応しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				医療的ケアが必要なご利用者様はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要なご利用者様はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様を通じて情報共有をしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様を通じて情報共有をしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	研修は受けていませんが、モニタリングの際に発達支援センターとは情報共有をしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ほとんどのお子様地域の子どもの幼稚園保育園に通われていることもあり機会を設けていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		数年間行われていないときもあることや招集された者しか参加できないこともあり参加していません。今後どうするか会社内で検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別支援計画更新の際にお子様の課題について共有しています。活動中に普段と違う様子などがあつた際にはご利用いただいた日に保護者様にお伝えしています。ご利用日以外にもお子様のご様子次第でメールや電話で状況を共有しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		個別支援計画の更新の際や送迎時、電話やメールでご相談いただいたときなど、ご様子に合わせて助言させていただいています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。その他、質問があつた際などにお伝えしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今までは必要ないと言われる保護者様も多く開催していませんが、必要に応じて検討します。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった際には迅速に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ上に活動の様子を公開しています。また、HUGを通してお子様の個別でのご様子を公開しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			お子様の様子を撮る際に利用している端末が職員の携帯となっているため、社用携帯を使用するなど、個人情報について管理を強化することを今後の課題としております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は地域の方に参加していただけるイベントなどをしていません。今後の課題として検討します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年間計画に基づき定期的に行い、前回の訓練などでの気づきや課題点を改善してあらゆる可能性を想定した訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画に基づいて定期的に行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時や更新時に服薬や持病などについて保護者様に確認を行い職員間で共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時などに保護者様に確認を行い、お子様に合わせた対応をしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、事業所内で共有後に書類を保管しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年間計画に基づいて実施しております。途中入社の職員に入社後すぐの案内ができていないこともあるため、入社後すぐに研修の機会を設けるなど周知の方法を検討します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:2025年5月

事業所名 ちあふるスクール宮之阪

保護者等数(児童数) 4 回収数 4 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切である	4					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4				部屋の中の明るさの測定はされたことがありますか？成長期の子どものため目が悪くならないか心配です。部屋の明るさ基準とかありそう。	設備基準を元に、標準機で測定しパソコン環境での明るさは確保している状態です。各お席に光が入るようにライトを設置しておりますが、パソコンを使用する際に明るすぎると反射もあり目への刺激が強くなることもありますので、お子様の健康面や環境を考慮しながら、環境整備を継続して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3			1		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			1	3	障害のない兄弟も通ったり一緒に活動できるとうれしいです。	児童福祉法に基づく施設のため一緒に通っていただくことはできませんが、イベントとして交流の場を用意できた際にはお知らせさせていただきます。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1			3	悩んだときに相談にのってもらっている。	ご相談いただいております。今後もちあふるのことだけに関わらず、園やご家庭と連携をとってお子様について一緒に考えていきたいと思っております。ちあふるで対応できることには迅速に対応していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	1				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			2	2		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	1				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3			1		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2			2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2			2		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4					
	23	事業所の支援に満足している	4					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちあふるスクール宮之阪		
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年2月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICT機器を使用してプログラミングやプログラミング的思考が学べる個別療育	1人1台パソコンが使えるための環境整備を行い、パソコンが初めてのお子様でも1から挑戦することができます。	お子様に合わせて取組が提案できるよう、既存のものだけではなく新しいプログラムも活動に組み込めるように日々職員で共有しています。
2	お子様に合わせた療育プログラム	1人1人のお子様に合わせた取組内容を指導員がサポートすることで、お子様が達成感を感じることができるようにしています。 また、ICT以外でも手先の巧緻性を養うための知育玩具など、日常生活動作に繋がる取組も用意しております。	お子様自身の得意不得意に寄り添った活動プログラム作りをしています。
3	個別活動プログラムと集団活動プログラムの併用	お子様や保護者様の意向に合わせて、活動を行うなかで指導員が仲立ちして少人数での交流の場を設けています。 少人数から交流を行うことでコミュニケーションが苦手なお子様にも関わる機会をもてるよう、月毎や長期休暇のレクリエーションに取組んでいます。	個別での活動プログラムとなっているため、平日の集団活動では短時間で取り組めるように内容を考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場が少ない	今後課外活動を行うことが決まっているため、その際に地域での活動や交流の機会を設けます。	地域との交流やお子さんの学びの機会になるように課外活動の内容を提案していきます。
2	活動スペースが狭く感じることもある	レクリエーションなどの全体活動を行う際には、机を移動するなどして活動スペースが十分にとれるようにしています。	机だけではなく、必要に応じて部屋全体の配置変更も行っています。
3	学校や幼稚園保育園と連携をとる機会が少ない	保護者様を通しての形で連携をとるようにしています。	普段の生活のなかでの様子などについては、保護者様のお話からしか聞く機会がないため、円滑な支援ができるよう必要に応じて学校や幼稚園保育園とも連携をとっていきます。

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2025年5月

事業所名 ちあふるスクール宮之阪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パソコンを活用することも多く、少し狭く感じることもあるかと思いますがお子様の活動に合わせて机を移動したり、空きスペースを使用して軽い運動などの活動ができるようにしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準よりも多く配置しております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートでいただいたご意見を参考に改善点について共有しています。その他、個別支援計画の更新相談や送迎時、メールや電話でもご意見をお聞きし職員間で共有後対応方法について話しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		アンケートでいただいたご意見を参考に事業所内で共有し改善点について話し合っています。結果内容につきましてはホームページ上で公開しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題としております。どのような形で外部評価を行うか会社内で検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		運転者講習等の研修を定期的にうけております。	必要に応じて研修に参加しておりますが、スキルアップや学びの機会として外部研修の参加に取り組んでいきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントシートを使用し保護者様やお子様の意見を聞いて計画をたてています。アセスメントシートを改善し、よりニーズが把握できるものにしています。職員間でもお子様の様子について共有し課題の分析を行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者様から病院や発達支援センターでの検査結果をいただきアセスメントツールとして使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日職員間で情報共有する時間を設けており、お子様に合わせた活動プログラムの立案をしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		継続中の取り組みを除き、お子様の様子やニーズに合わせて個別にプログラムを考え、固定化にならないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と長期休暇でご利用時間も変更になるため利用時間に合わせた課題を提案しています。長期休暇にはレクリエーションや発表の時間を平日以上に設けるようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		プログラミング以外にもお子様それぞれの課題に合わせて、少人数でのレクリエーションやボードゲームなども取り入れグループ活動も行っています。制作物の発表をする際には、お子さんたちで見て意見交換をすることもあります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝情報共有をする時間を設け、支援の内容・分担・準備をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後には小さな出来事でも情報共有し、必要に応じて保護者様に報告をしています。お子様の支援に対してもっとこうした方がいいのではないかと日々話し合っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		お子様の様子を記録するために専用ツールを使用し記録して、検証改善につなげています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画作成後、3か月・6か月と定期的にモニタリングを行っています。また、毎日の情報共有の際にお子様の課題への到達状況や見直しの必要性についても話し合っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		セルフプランのご家庭も多くサービス担当者会議が行われることが少ない状況ですが、児童発達支援管理責任者を中心として日々対応しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者様を通じて情報共有や確認を行っていますが、必要に応じて直接学校や園に連絡を行い確認しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者様を通じて情報共有をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだ移行されたお子様はいませんが、移行されるお子様が いる際には情報共有・提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	研修は受けていませんが、モニタリングの際に発達支援センターとは情報共有をしています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ほとんどのお子様が地域の学校に通われていることもあり機会を設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		数年間行われていないときもあることや招集された者しか参加できないこともあり参加していません。今後どうするか会社内で検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別支援計画更新の際にお子様の課題について共有しています。活動中に普段と違う様子などがあった際にはご利用いただいた日に保護者様にお伝えしています。ご利用日以外にもお子様のご様子に合わせてメールや電話で状況を共有しています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個別支援計画の更新の際や送迎時、電話やメールでご相談いただいたときなど、ご様子に合わせて助言をさせていただいています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。その他、質問があった際などにお伝えしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別支援計画の更新の際や、電話やメールでご相談いただいたときには迅速に対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今までは必要ないと言われる保護者様も多く開催していませんが、必要に応じて検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があれば迅速に対応しています。また、契約時に市に設置されている窓口についても説明しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ上に活動の様子を公開しています。また、HUGを通してお子様の個別でのご様子を公開しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○			お子様の様子を撮る際に利用している端末が職員の携帯となっているため、社用携帯を使用するなど、個人情報について管理を強化することを今後の課題としております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は地域の方に参加していただけるイベントなどを実施していません。今後の課題として検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画に基づいて定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			年間計画に基づいて実施しております。途中入社の職員に入社後すぐの案内ができていないこともあるため、入社後すぐに研修の機会を設けるなど周知の方法を検討します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時などに保護者様に確認を行い、お子様に合わせた対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、事業所内で共有後に書類を保管しています。	

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2025年5月

事業所名 ちあふるスクール宮之阪

保護者等数(児童数)29

回収数 24

割合82%

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	3	1		もう少し広ければいいと思う	個別のお席などもあることで少し狭く感じることもあるかと思ひます。お子様の過ごし方に合わせて大テーブルを移動させるなどして活動スペースを確保しております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	4			適切な配置など不明なため	適切に配置しております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	10	1		・不明。 ・見学の際にバリアフリー化などを確認しておらず知らないため	入口から活動スペースの範囲で段差などないようにしております。今後もお子様が無事に過ごせるよう環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	3			時間を区切っていろいろな課題にチャレンジさせていただいています。	今後もお子様それぞれに合わせた活動プログラムを提案していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	15	6		・不明。 ・わかりません。 ・子供本人としてはある。	地域の学校に通われているお子様が多いこともあり、ちあふるの活動としては現在実施しておりません。交流の場を用意できた際にはお知らせさせていただきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23			1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	12	11		・聞いたことがない。 ・わかりません。 ・支援があったかもしれないが認識していなかったため	以前のアンケートでは必要ないというご意見も多数あり実施しておりません。ご意見や必要性に応じて今後検討させていただきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	7			不明のため	苦情やご意見があった際には迅速に対応させていただいております。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	2				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	3			聞いたことがない	ちあふるのHPに活動の様子や、自己評価の結果を公開しております。またHUGでお子様それぞれのご様子を公開しております。
	14	個人情報に十分注意しているか	21	3				

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	4	3		聞いたことがない	それぞれのマニュアルを用意しております。ご契約の際にお伝えしておりますが、ご不明点がありましたらご案内させていただきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	7			・わかりません ・不明のため	義務化されている避難訓練を定期的に行っております。お子様も一緒に訓練に参加していただいたり、事前に職員のみでの訓練も行っております。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3			週1回の通所をとても楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もお子様の経験となるような様々な課題を提案させていただきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	3			沢山声かけをいただいたり話を聞いて褒めていただけてとても楽しい時間になっているようです。	ありがとうございます。今後もお子様にとって楽しい時間となるような様々な課題を提案させていただき、職員一同支援に取り組んでまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちあふるスクール宮之阪			
○保護者評価実施期間	2025年1月1日 ～ 2025年2月7日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICT機器を使用してプログラミングやプログラミング的思考が学べる個別療育	1人1台パソコンが使えるための環境整備を行い、パソコンが初めてのお子様でも1から挑戦することができます。	お子様に合わせて取組が提案できるよう、既存のものだけではなく新しいプログラムも活動に組み込めるように日々職員で共有しています。
2	お子様に合わせた療育プログラム	1人1人のお子様に合わせた取組内容を指導員がサポートすることで、お子様が達成感を感じることができるようにしています。 また、ICT以外でも手先の巧緻性を養うための知育玩具など、日常生活動作に繋がる取組も用意しております。	お子様自身の得意不得意に寄り添った活動プログラム作りをしています。
3	個別活動プログラムと集団活動プログラムの併用	お子様や保護者様の意向に合わせて、活動を行うなかで指導員が仲立ちして少人数での交流の場を設けています。 少人数から交流を行うことでコミュニケーションが苦手なお子様にも関わる機会をもてるよう、月毎や長期休暇のレクリエーションに取組んでいます。	個別での活動プログラムとなっているため、平日の集団活動では短時間で取り組めるように内容を考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場が少ない	今後課外活動を行うことが決まっているため、その際に地域での活動や交流の機会を設けます。	地域との交流やお子さんの学びの機会になるように課外活動の内容を提案していきます。
2	活動スペースが狭く感じることもある	レクリエーションなどの全体活動を行う際には、机を移動するなどして活動スペースが十分にとれるようにしています。	机だけではなく、必要に応じて部屋全体の配置変更も行っています。
3	学校や幼稚園保育園と連携をとる機会が少ない	保護者様を通しての形で連携をとるようにしています。	普段の生活のなかでの様子などについては、保護者様のお話からしか聞く機会がないため、円滑な支援ができるよう必要に応じて学校や幼稚園保育園とも連携をとっていきます。